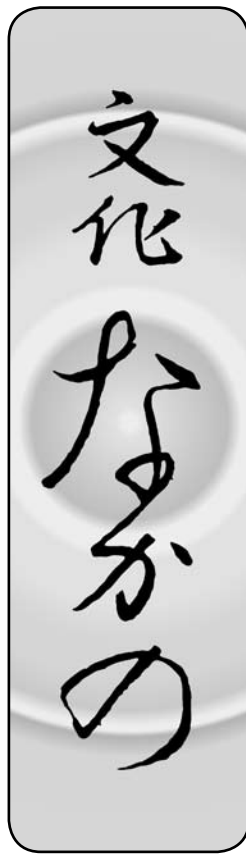


公民館活動の充実



中野市公民館報

2009 **4**
 No.49
(通巻No.581)
 発行 中野市中央公民館
 編集 文化なかの編集委員会
 〒383-0025
 中野市三好町一丁目4番27号
 TEL 0269-22-2691
 FAX 0269-26-2342



～講演を熱心に聞き入る、分館長・主事の皆さん～

中野市公民館と73分館の館長・主事が一堂に会し、平成21年度分館長・主事研修会が2月28日(土)中央公民館で開催され、約150名が出席した。

中野市公民館の運営方針や事業にもとづき、それぞれの役割や特性を活かし両輪となって、地域に根を張り暮らしに溶け込んだ公民館活動の充実と推進を確認しあった。

合わせて「記録に残る記事、記憶に残る写真」をテーマにした分館報づくりの講演会や平成20年度分館報コンクール表彰式も行われ、充実した研修会となった。

新役員のみなさんは研修会を通して公民館事業に理解を深め、懇親会では親睦を深め合うなど、公民館運営に向け清々しいスタートとなった。

今月号の特集
中野市公民館
運営方針

あおぞら

四月。桜花爛漫の季節。そして、学校や会社などでは新人を迎え、新しい体制がスタートする月です。

新人の波及効果は大きいと思います。新人は組織をリフレッシュする。新人は経験はないけれど、彼等の初々しさは、私たちが忘れてしまっている大切な心と呼び覚ましてくれます。

『日に新たに 日々新たに また日に新たなり』この有名なことばは中国の古書『礼記』の中にあることばだそうです。

わたしは四月の気持ちを持続させるためにこのことばを時々読み返します。知らず知らずのうちに情性に流されてしまっている自分。当初の決意を、いつの間にか周りのせいにし、諦めている自分。そんな時、このことばを読み返し、初心の気持ちを思い返します。

さあ、新年度四月。新たな気持ちでがんばるぞー！
 (ら)

公民館のめざす方向

平成二十一年度運営方針

中野市の公民館は、県内の公民館とともに戦後いち早く先駆的な活動を展開し、日本の社会教育、生涯学習の歩みの中で、地域に根を張り暮らしに溶け込んだ公民館活動を行ってきた。

中野市の各地において地域づくりや、文化の伝承・創造、環境保全、地域に根ざした経済活動の活性化、介護、福祉、男女共同参画等の地域課題解決のため、そして市民の学びのニーズに添えていくなど公民館の活動は重要である。そのためにも4公民館が連携し、各館の特性を發揮しながら推進していく。

地域に開かれた公民館をめざし、①特色ある文化資源の発見と再生・創造 ②教育・福祉・観光などの分野との連携 ③子どもたちの文化芸術活動の支援 ④文化芸術と活動についての情報発信 ⑤人材育成 ⑥地域文化拠点の活性化などに取り組む。
また、子どもの体験活動などの支援をしていく。

●重点施策●

◎なかの21市民講座の推進

21世紀のこれからを、我々はどうのように生きていったらよいか、人間の根源的なところから問い深め、豊かな心を育み幸福に暮せる地域づくりに資する。なかの21市民講座実行委員により講座の企画・運営にあたる。

◎中野市成人式の充実

◎「まなざし」・「子ども育成事業実践集」を指針に子ども事業の実践化と充実

◎音楽など文化芸術活動進展のための支援

◎各公民館の特性をいかして地域の課題解決にあたる

◎分館活動活性化の支援を行う。

中野市4公民館の主な活動内容

北部公民館

- 北部の集落間の和と交流を求め、寄りやすく学びやすい場づくりと実践
- 講座の重点化（子育てサロン・親子原体験を取り入れた子ども教室・高齢者大学等）
- 音楽、スポーツはじめ各趣味サークルの育成支援

中央公民館

- 市民のニーズに応えられる講座などの開設
- 公民館報「文化なかの」の発行及び文化展・芸能祭などの文化祭の開催
- 分館との連絡、公民館運営審議会、分館長・主事研修会、非常勤主事会など公民館活動を推進するに必要な、公民館全体にかかわる事務・事業の推進

豊田公民館

- 豊田地域のよさを掘り起こし、学びあって、中野市豊田の地域づくりをする
- 地域の特質をふまえての運営の重点化をはかる
- 公民館活動に取り組む人の和を広げる

西部公民館

- 地域課題を掘り起こし、西部地区に合った公民館活動の推進
- 「いつでも誰でも」を基本として、自主的な学習活動の支援
- 地域の生涯学習の中核施設として、集う・学ぶ・活かす・楽しむことが出来る場づくりを目指す

平成21年

非常勤主事・分館協議会長 分館長・分館主事 名簿

◆中野市分館協議会◆

会長 (宮本 六朗)
副会長 (金子 彰)
副会長 (吉家 一雄)

●中野地区●

非常勤主事 丸山 康雄
非常勤主事 丸山 浩
分館協議会長 秋元 正幸

分館名 分館長

分館主事

中町 石澤 和彦 瀧澤 雅生
西町 山田 尚慶 堀尾勇次郎
東町 金山 弘 小林 亮太
松川 小島 敬三 三木 和男
東松川 秋元 正幸 横田 幸憲
普代 桜井 良光 安濟 秋夫
栗和田 水野 孝夫 竹内 勝
一本木 山田 義男 倉沢 弘二
西条 樋口 初夫 久保 利幸
上小田中 上野 靖夫 頓所 和光
下小田中 小林 孝夫 桑原 秀樹
東吉田 岩本 文一 内田 守道
草野 幸子

●日野地区●

非常勤主事 浦野 寿文
分館協議会長 金子 彰
分館名 分館長 分館主事

間山 小林 則夫 原沢 功
新野 金子 彰 田川 貴義

●延徳地区●

非常勤主事 大宮 良一
分館協議会長 佐藤 直信
分館名 分館長 分館主事

桜沢 原 良郎 大井 孝知
大熊 佐藤 直信 小林 藤雄
北大熊 木村 安雄 木村 芳隆
篠井 田中 初雄 山田 篤己
新保 霜鳥 由夫 丸山 博明
小沼 柳沢 和人 大宮 浩司

●平野地区●

非常勤主事 小林 雄一
分館協議会長 武田 正
分館名 分館長 分館主事

分館主事

東江部 児島 一雄 松田 康永
西江部 竹内 幸夫 長島 輝宜
岩船 武田 正 近藤 政俊
吉田 町田 敏明 塩崎 光也
片塩 田中 秀幸 田中 透
七瀬 塩野谷健治 小池 民雄
泉 古幡 新一 堀籠 雄貴
長嶺 北澤辰登志 大沼 正男

●高丘地区●

非常勤主事 佐藤金之助
分館協議会長 片山 信男

高遠 田川 精一 田川 武己
更科 笠原 光男 中村 右造
東山 土屋 英雄 岩本 順吉

●長丘地区●

非常勤主事 高橋 幸司
分館協議会長 吉家 一雄
分館名 分館長 分館主事

分館主事

厚田 江本 紀夫 長張 芳造
壁田 吉家 一雄 宮本 覚
古牧 若林 栄吉 馬場 和宏
若林 進一

●平岡地区●

非常勤主事 阿部 泉
分館協議会長 小島 徳重
分館名 分館長 分館主事

分館主事

新井 藤沢 知弘 相馬 広幸
若宮 小島 徳重 町田 佳也
竹原 武田 信友 武田 直人
金井 江口 忠宏 三澤 一良
南間長瀬 田中 徳行 久野 陽一
北間長瀬 佐藤 秀樹 依田 隆生
東笠原 山田 良造 池田 睦
西笠原 塚田 富芳 塚田 浩司
長元坊 櫻井 致由 堀川 鉄兵

●科野地区●

非常勤主事 上原 雅樹
分館協議会長 高橋 利光
分館名 分館長 分館主事

分館主事

赤岩 高橋 利光 江口 明
越 池田 栄一 渡辺 基秀
深沢 佐藤 正司 塩野谷幸夫

●倭地区●

非常勤主事 山岸 一郎
分館協議会長 市村 邦彦
分館名 分館長 分館主事

分館主事

柳沢 小林 伸雄 上野 広樹
田上 市村 邦彦 三井 忠助
岩井 山田 宗良 佐々木三智人
岩井東 清水 重一
牧ノ入 前田 正己

●豊田地区●

非常勤主事 宮沢 賢明
分館協議会長 宮本 六朗
分館名 分館長 分館主事

分館主事

笠倉 大沢 隆 割田 義一
奥手山 宮本 六朗 小林 孝弘
美沢 原田 誠治 藤澤 眞
穴田 外谷 益朗 多城 伸弥
毛野川 外谷 秀孝 中島 伸雄
南永江 伝田 辰之 島山 房子
北永江 外谷 辰之 滝野 文昭
西組 黒岩 鐵人
三俣 市川今朝男
赤坂 田中富士男
豊田深沢 荒井 米男

こんにちは 分館

新保区は、中野市の南部・延徳地区に位置し、市街地に近いため、年々世帯数が増加し、以前は一六〇戸ほどであったのが、現在四四〇戸余りと大きな区となりました。分館事業は、区民運動会を皮切りに、延徳地区の球技大会、シヨンシヨン祭り、盆踊り・納涼祭、区民文化展、研修会、書き初め大会、最後に敬老会で終了します。現在、分館において、新

旧の区民の交流、親睦が重要であり、いかに分館活動に多くの区民が参加できるように努めます。

新保分館

は、文化展や盆踊りなど、その担い手であった趣味の会、クラブなど自主的に行っている。



多くの区民が参加した書初め大会

たものが、会員が高齢化し継続できずに多くの組織がなくなりました。そのため、新保区の内外で趣味の会、クラブに属しているひとり一人の情報を、新たに発掘しながら、分館活動に結びつけていく事を始めました。

区民文化展の展示品では、口コミによるもの、全戸配布のチラシによるものなど出展数が増え、効果が見



出展数が増えてきた文化展

えてきましたので、今年はさらに努力していきたいと考えております。

公民館長 霜鳥由夫

ふるさととの歴史

新保は中野扇状地の南扇端から延徳田んぼに広がる広いむらである。鎌倉時代には壁田などと共に、歴史に登場している。

江戸時代には石高千石をこえた市内でも有数のむらであったが、水害に見舞われてきたところでもあった。

そのため、むらの人達は水害につよい、しかも生産性の高い農作物をつぎつぎに導入し、暮しの安定に努めてきた。その主な農作物について述べる。その第一は柳である。柳

進取のむら新保

にふみきる。柳でつくった行季などは軍隊からの注文もあって需要がまし、大きな発展をとげる。

しかし戦後はビニール製品におおされすたれてしまった。加えて減反による空地がでる。

は水に強い作物だが、はじめから新保にあったわけでは無い。先覚者達は柳に目をつけ、先進地の長沼(長野市)や豊岡市(兵庫県)を視察する。柳の栽培に自身を深め、導入

しかし新保はそのままにできなかった。今はアスパラ畑一色というほどにビニールハウスが広がっている。ハウスの中はあたたかいとはいえず、冬期の作業は大変なことと思われる。いつぼう新保はえのき栽培も盛んである。あちこちにあるえのき工場は、ほとんど通年にわたり動いている。

このように新保では、次から次へと新しい作物を取入れ、生活の糧にしてきた結果、進取のむら新保となったのだと思われる。

田中 毅

編集委員 だより

公民館も デジタル時代?

二月十八日・二五日・三月四日の三回に渡り、北部公民館において「はじめのデジタル教室」が開催されました。定員二十名のところ、六十名近い希望者があり、溢れてしまった方には断腸の思いでお断りをしたそうです。

受講者の中には年配の方



講師の久保田さんの話には、皆さん真剣です

もおられ、買ってはみたものの使い方がわからず放置していたが、今回の講習のおかげで楽しく使えるようになりましたとの声もありました。開始時間より前に来られて講師の先生に積極的に質問されるなど、デジタル機器に対する興味の深さが伺われました。宿題として撮ってきた写真を皆でプロジェクターに投影して見たり、手ブレしにくい撮り方、夜景の撮り方、逆光でも顔が黒くならない裏ワザなど若者でも知らないテクニクをたつぷりと教えて頂き、皆さんとても満足しておられました。「被写体の狙い方が変わりました。」との感想にはびつくり。油断していると年配の方に追い越されてしまいました。(く)

今月の伝言板

講座の詳しい内容につきましては、各公民館までお問い合わせください。

■中央 ☎ 22-2691 ■北部 ☎ 26-0677 ■西部 ☎ 23-1024 ■豊田 ☎ 38-2922

	講座名	日時	場所	講師	備考
中央公民館	日本語教室	(昼コース) 4月14日から 毎週火曜日※祝日を除く 13時30分～15時30分 (夜コース)第2・4日曜日 19時～21時	中央公民館	ボランティアの 皆さん	<受講料>無料 <申込み>中央公民館で随時 受付します。
	初級英会話教室	4月14日～3月中旬 毎週火曜日※祝日を除く 19時～21時	中央公民館 教室	中野市英語指 導助手(AET)	<受講料>無料 <申込み>4月14日(開講日)に 会場で受付します。以後、随時 受付します。
	中野市シニア大学	4月23日～2月下旬 (講座は全16回) 13時30分～15時 (第1回目)4月23日 開講式、音楽鑑賞	中央公民館 講堂	(第1回目) 長野フィル音楽 ボランティア& ハーモニー	<受講料>無料 <申込み>4月23日(開講日)に 会場で受付します。以後、随時 受付します。
	生活の中の書	5月13日から 全6回(毎週水曜日) 13時30分～15時30分	中央公民館 教室	太田 舛次 先生	<定員>20名 <教材費>200円 <持ち物>書道用具一式 <対象>書道初心者 <申込み>4月20日(月)から
北部公民館	あるある探検隊 <内容>親子、家族で自然 体験・農業体験・伝統行事 の体験活動にチャレンジ	5月2日～1月中旬 全8回予定 ※土曜日を中心に活動	北部公民館 ほか野外	赤岩M21 ほか	<定員>小学生親子20組 <受講料>無料。ただし傷害 保険料としてお子さん一人に つき1,000円 <申込締切>4月27日(月)まで
	男のピラティス <内容>脱メタボ!内臓に近い 深層筋を鍛えてお腹回りの シェイプUPや腰痛改善にも	・5/12・5/19・5/26 ・6/2・6/16・6/23 ・6/30 19時30分～20時30分 全7回(毎週火曜日)	北部公民館	宮崎 栄子 先生	<定員>男性20名 <受講料>無料 <持ち物>飲み物、汗拭きタオル バスタオルかヨガマット <申込み>4月10日(金)から
西部公民館	近世文書 (古文書)講座 <内容>西部地域に残る古 文書を読み、考えませんか	・4/13～3月まで 全12回(第2月曜日) 19時～20時30分	西部公民館 会議室	岩戸 貞彦 先生	<定員>30名 <受講料>無料

公民館職員名簿

文化なかの

編集委員

” ” ” ” ” ” ” ”
委副委
員員
員長

豊田 公民館

臨主館
時査長

西部 公民館

臨臨副館
主
時時幹長

北部 公民館

臨臨主館
時時事長

中央 公民館

囑囑主主主主副館
任任主館
託託事事査幹長長

小池江清大倉柴上小苺
林田口水塚田本田池和
博俊武幸昌隆倭光久武
幸哉文美克志子朗志史

大宮黒
森本崎
正敏和
代樹重

小水小柳
橋津林沢
和秀
薫也厚一

下廣徳鈴
田瀬竹木
佳郁真一
子世章成

高杉滝戸鈴外高丸
野本沢田木山田山
美厚盛の康邦
和子文子貴子茂夫



北帰行ひと休み／大俣 (㊦)



サクランボ／竹原〔ハウス〕 (〇)

花郷

はなさと
Flower Home



フリージア／竹原〔ハウス〕 (〇)



黄色いお花／東吉田 (メタ坊)

花と季節の写真募集

文化なかの編集委員会では、中野市内の花や季節の写真を募集します。未発表写真に限ります・四ツ切りまで(ワイドサイズも可)のプリント、デジタルデータ(未加工のもの)。
氏名、住所、連絡先、作品名、撮影場所、花の名前等を書き送って下さい。匿名希望やペンネーム掲載はその旨をお伝え下さい。随時募集します。
宛先は中央・北部・西部・豊田公民館
☎383-0025
中野市三好町一丁目4番27号
☎22-2691(有線20691)
Eメール c-kominkan@city.nakano.nagano.jp

季節のコラム

昨年は、四名の日本人研究者がノーベル賞を受賞し、今年の日本映画界ではアカデミーを受賞した。
明るく、生きいきした日本、そして地域が元気で子どもが輝く中野市の未来を願う上で、思うことは、明るいニュースの反面、地球上に重い空気が漂っていて、社会のどこかが歪んでしまっていることと、私たちの心の環境がおぼつかなくなっていることである。「教育・文化・芸術は人々の心を豊かにし、社会を明るくする。」と言われてきている。今の地球規模の諸課題の解決に向っての歩みを一刻でも早めることを願わずにはいられない。